

101 明治時代 紡績業と製糸業

(松 方 デ フ レ)

- ・**緊縮財政と増税**をして、政府の保有正貨(金銀)を増やす。
- ・インフレ抑制のため、増税で吸い上げた**太政官札・国立銀行券**を焼却。貨幣量を減らす。
- ・1882 日本銀行を設立、国立銀行の **紙幣発行権を取り上げ**、普通銀行に転換。



- ・1885 **銀本位制** 確立
日本銀行券は **兌換紙幣** で信用確立
利息が下がって借りやすくなる。
- 1886~1890 **企業勃興ブーム**

農村困窮

- デフレで**地租が実質増税**、不況で繭価暴落
民権激化事件(服着たカバさん 鼻血ブー)
→没落農民、**都市に流れて賃金労働者**

- 1890 企業勃興の反動で **1890年恐慌**
- 1895 下関条約で3億6千万円の賠償金
- 1897 **貨幣法** 制定で **金本位制** 確立
1円=金0.75グラム いや~苦難の道のり 金本位
- 1900 過剰生産による初の **資本主義恐慌**
いやあ苦難の道のり金本位

第1回は上野公園だったね

- 1877 西南戦争中に第1回内国勸業博覧会
臥雲辰致 が **ガラ紡** 発明
国内の材料と水力で作れる簡単な紡績機(糸紡ぎ機)で
内国勸業博覧会で大久保利通から最高賞、特許制度が
なくかわいそうでした。ガラ紡は 愛知県 を中心に
普及、ガラ紡をよく見ていたのが豊田佐吉でした。



- 農民が **飛び杼** を導入で手織り増加
ヒモを引っ張ると飛び杼(フライング・シャトル)が
横に飛んで、自動で横糸を通してくれる簡単な道具

- 1883 **渋沢栄一** が **大坂紡績会社** 設立
農村で 飛び杼 を使った織物業が増加したので、原料糸が
足りなくなってきました。そこで渋沢栄一は、1786年の秩
禄処分で大久保 金禄公債 をもらった旧大名(華族)に
株式出資してもらって、政府が推奨する2000錠紡績の不
振を尻目に大阪でいきなり 1万500錠 紡績の大規模経営
を1年目から黒字化に成功しました。イギリスから輸入の
ミュール紡績機 を使い、電灯 を活用した 昼夜2交代
操業で機械をフル回転したからです。さらに最新鋭のリン
グ紡績機にして効率化しました。渋沢の黒字成功に励ま
されて、各地で大規模な会社の設立が広がりました。

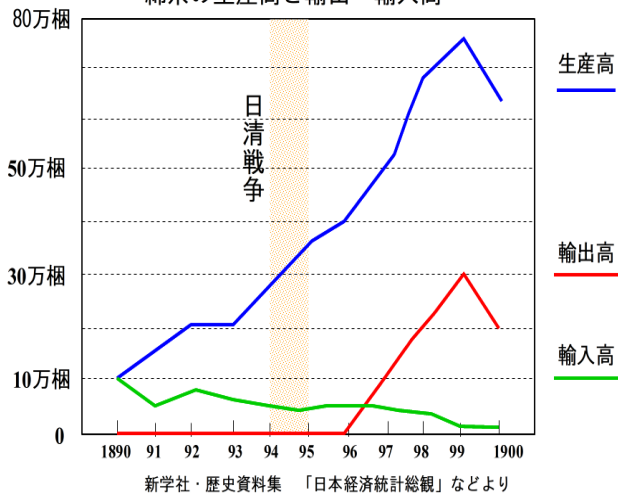


- 愛知県の **豊田佐吉** が **国産力織機**
渋沢栄一によって原料糸が大量供給されたので、愛知県
のガラ紡を見ていた愛知県の豊田佐吉が発明しました。
- 1896 **造船奨励法** ・ **航海奨励法**
戦争時には民間船は徴用して使います。民間船も鉄鋼船
を普及させようと、日清戦争後に奨励金を出しました。

- 1897 綿糸輸出額が輸入額を越えた
いやあ苦難の道のり産業革命

- 1909 綿布の輸出額が輸入額を越えた
渋沢の登場からあつという間ですね、輸出入の逆転。
綿布輸出がワンクリックですね(笑)

綿糸の生産高と輸出・輸入高



- 1858 安政の五ヶ国条約
開港により、桐生・足利などの在郷商人が江戸を経由せ
ずに横浜に直接売り込み、生糸生産が刺激されました。
→簡単な手動装置による **座繰製糸** 普及

- 1884 輸入機械に学んで在来技術を改良し
た **器械製糸** の小工場が水のきれいな
長野県・山梨県の農村地帯に続々。
座繰より 器械が ばく進 1884

生糸は最大の **外貨獲得 産業**

紡績業	輸入機械	輸入綿花
製糸業	国産器械	国産の繭

- 1909 生糸輸出額が清国を越して世界一に
生糸輸出が世界一に。これもワンクリックですね(笑)